



左から、宮里啓生君(前島小)、下地紘一郎君(長嶺小)、稲嶺知事、田島鳥穂乃香さん(開南小)、大城咲乃さん(伊良波小)、上原千晶さん(昭和薬科大付属中)

816 第四十四次 沖縄県豆記者 帰任報告

七月末に皇居や国会議事堂、首相官邸、北方領土資料館などを取材した沖縄県豆記者団の代表が、八月十六日、県庁を訪れ、稲嶺知事へ帰任報告を行った。
一行は、皇太子殿下とのご接見の様子や首相官邸で「鳩間節」を踊った事など、取材先での思い出を楽しく報告した。
稲嶺知事は、「今回の体験は皆さんの将来にとってもプラスになると思う」と笑顔で語った。
豆記者の活動は、本土と沖縄の小中学生が相互に交流することで、実情を理解し、友情を深めるために、昭和三十七年から開始した。
夏休みに沖縄から本土へ、冬休みに本土から沖縄へ派遣され、取材活動が行われている。

822 JAおきなわと信連・経済連が統合

沖縄県農業協同組合（JAおきなわ）と沖縄県信用農業協同組合連合会（信連）、沖縄県経済農業協同組合連合会（経済連）との統合に関し、八月二十二日、稲嶺知事からJAおきなわの赤嶺勇理事長へ認可書が交付された。
交付式の中で、稲嶺知事は、「統合を機に、我が国唯一の亜熱帯地域の特性を活かした、本県農業の振興・発展に尽くされ、一層の飛躍を遂げられるよう期待する」と述べた。
JAおきなわは、平成十四年四月に県内二十七のJAが合併し誕生した。その後、自己資本比率の向上などの条件整備に取り組み、今回の統合に至った。
なお、県域での単一JAは、奈良県に次ぎ全国で二例目となる。



92 沖縄県総合防災訓練



九月二日、県は、恩納漁港、恩納村コミュニティ広場を主会場に、平成十七年度沖縄県総合防災訓練を実施した。
今年の訓練は、スマトラ沖地震に伴う津波災害を教訓とした大規模な津波避難訓練や新潟県中越地震を教訓とした孤立者救助訓練、高齢者等の災害時要援護者に配慮した避難訓練などを中心に行われた。
訓練には、九十機関・団体、約四千人、車両百二十台、航空機十六機、船舶等十四隻が参加した。



99 県民奉仕市の開催

九月九日、県庁前の県民広場において、県民奉仕市が開かれた。県民奉仕市とは、農林高校や水産高校で作った農水産物の展示即売会で、県民の産業教育への理解と関心を高め、生徒の学習意欲と職業意識の高揚を図ることを目的としている。
初めての試みとなる今回は、中部農林高校、沖縄水産高校、翔南高校（出品のみ）が参加し、卵、ハーブ茶、チーズケーキ、マグロの缶詰など自作の生産物を直接販売した。
奉仕市は、稲嶺知事ら関係者や多くの買い物客で賑わった。



県政日誌

(八月十六日～九月十五日)

八月	
十六日	寄付金贈呈式 (財)郵便貯金住宅等事業協会 〔表敬〕 外為とっとコム代表取締役社長 大畑敏久氏
〃	第四十四次沖縄県豆記者帰任報告
〃	〔表敬〕 防衛施設庁長官 北原巖男氏
十八日	行政オンブズマン運営状況報告
〃	〔表敬〕 西原高校マーチングバンド部
〃	〔表敬〕 沖縄県ハイヤー・タクシー協会
〃	〔表敬〕 内閣府青年国際交流事業沖縄県派遣青年
十九日	ヤングネットワーク・ウィング九州二〇〇五 沖縄県団壮行式
〃	JAおきなわへの 連合会権利義務承認認可書交付式
二十二日	平成十七年第二回沖縄次世代委員会
〃	那覇港管理組合八月議会開会(二十五日)
二十三日	〔表敬〕 沖縄科学技術大学院大学
二十四日	ボードオブガバナンス 委員 尚弘子氏

九月

一日	独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構発足式
〃	〔表敬〕 農水産業協同組合 貯金保険機構理事長 東久雄氏
〃	第十二回地域福祉実践研究会セミナー及び第二回かりゆし地域福祉実践セミナー開会式
二日	JAおきなわ信連・経済連統合式典・祝賀会
五日	平成十七年度沖縄県総合防災訓練(恩納村) 沖縄県本人確認情報保護委員会委嘱状交付式
九日	〔事業報告会〕 ヤングネットワーク・ウィング九州二〇〇五
〃	沖縄県環境審議会委員辞令交付式
十二日	〔表敬〕 国立政策研究大学院大学 ヤングリーダーズプログラム留学生二行
〃	海フェスタおきなわ第二回総会
十五日	〔視察〕 若夏学院、中央児童相談所

沖縄の人口世帯の動き
平成17年8月1日現在推計

人口 136万4,781人 ※前月比674人増

世帯 49万6,798世帯 ※前月比881世帯増